

mobell

EST 1989



EST 1989



ソーシャルビジネスコース

Mobell & Seibo

About Mobell and Seibo



モベルは、1989年に英国で誕生し、それ以降多くの国において、サービス、社会貢献事業を展開してきました。

英国を中心に、アメリカ、マラウイ、日本、ポーランドなどでの展開があります。

30年間の社会貢献事業の経験により、フェアトレード、ソーシャルビジネス、国際支援の実務については、

多くの知識と経験を備えています。その中でも、NPO法人せいぼは、マラウイでの給食支援を展開し、

日本ではその活動の一環としてマラウイ産のコーヒーの販売を始めとする活動を、学生とともに展開しています。

コースではその学生との活動の実りを、多くの人々に共有し、チャリティの輪を増やすことを目的としています。

(NPO法人せいぼ代表、コース運営責任者: 山田 真人)



Mobell Group Organisations:



Practical Experience & Knowledge

NPO法人せいぼでは、30校以上の国内の高校、大学と提携をし、マラウイの給食支援に繋がるビジネスの構築や国際支援のワークショップ、実際のマーケティング、セールスの活動を実施しています。

こうしたNPOの経験を踏まえて、実際に支援に必要な知識をコースでは採用し、受講者に的確に伝達した上で、具体的な実践まで導いていきます。

受講者の中には、日本での入試や海外大学院への進学、課外活動の題材など、様々な応用を実践して下さっている方がいます。



オンラインコースの概要

講師の授業 (約90分)

- Charity
- Social Enterprise
- Poverty
- Statistics
- Communication

-スタッフの個別面談 (活動への参加など)

- 質問の回答
- 英語の養成
- 内容を深める

最終発表

- 学んだことを
発表した上で、
その後の活動に
繋げる
- スタッフとの会話、
交流を増やす

毎月第一週目の月曜より開始 / 週1回の実施
(Google Classroomでの教材提供、スケジュール管理)



※対応スタッフの国籍は、
参加者のレベル、
要望によって異なります。

講師によるライブ授業と 自習課題

Day 1	Day 2	Day 3	Day 4	Day 5
What is Charity?	What is Social Enterprise?	Statistics	Poverty	Communication Skills
実際にチャリティに関わっているスタッフから、チャリティの歴史と事例についてお話します。	社会的企業についての歴史、事例についてお話し、理解を深めます。参加者が独自の活動を創案する機会を得ます。	実際にマラウイで統計に基づいた支援を実施しているスタッフと、Computer Scienceを専門とするスタッフとともに、実践的な統計の使い方を学びます。	貧困に関する課題について、マラウイ現地の方々か話を聞き、考えた上で自分の意見を持てるようにしていきます。	実際にTeam workによる英語によるマーケティングの体験やプレゼンテーションの作成のスキルを磨き、内容の中でコース全体の復習ができるようにします。

※自主課題と日本語のサポート： google classroomで、それぞれの項目に対する自習課題とサポートとなる動画、日本語の教材をご提供します。

最終発表の事例①

★弊社とリザプロ株式会社（オンライン塾）
の共同授業に参加

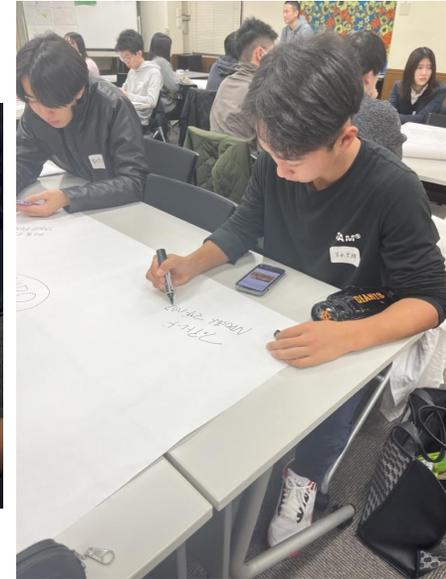
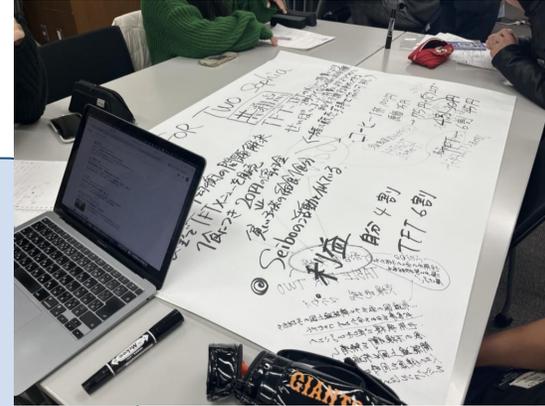
プレゼンテーション

+

フェアトレード商品の販売戦略を塾生と練る

+

アイデアを形にする



最終発表の事例②

★上智大学のAfrica Weeksに参加

「コーヒーから知るアフリカ」と題したプレゼンテーション

+

聴講者とのグループディスカッション



最終発表の事例③

NPOで国際ボランティアをしながら実地教育ができる！

★学校とのワークショップの企画・実施

e.x. 自分でカリキュラムを作成



小学校、中学校、高校に訪問



カリキュラムを実践



最終発表の事例④

マラウイ人スタッフと情報交換し、
支援プロジェクトを創始。
幼稚園の井戸を始めとした、給食の
環境改善に貢献。
その後も、ボランティアスタッフとして
関わりを続ける。

実際に支援プロジェクトを体験しその
証明がもらえる。



ドミニコ学園と提供した現
地の井戸の看板

長期インターンコース

- ・週日毎日の90分授業を実施
- ・マラウイを始め様々な国籍のスタッフ との交流とCommunication
- ・コースの充実度増加(次ページ参照)



コースの詳細内容(さらに詳しくは[こちら](#))

月	火	水	木	金	土
Charity 1	Poverty 1 (Future)	Social Enterprise1	Malawi Coffee	Charity 2 & Circular Economy	Supports & Tutoring
Leadership 1	Life Skill 1 (Nicole)	Statistics 1	Malawian Culture 1	SDGs and Students` Case Studies	Supports & Tutoring
Charity 3	Poverty 2 (Future)	Social Enterprise2	Malawi Coffee 2	Body Language	Supports & Tutoring
Leadership 2	Life Skill 2 (Nicole)	Statistics 2	Team Work	Presentation Skills	Supports & Tutoring
Poverty 3	Life Skills 3	Social Enterprise3	Malawian Culture 2	Final Presentation	Supports & Tutoring

The Importance of Leadership

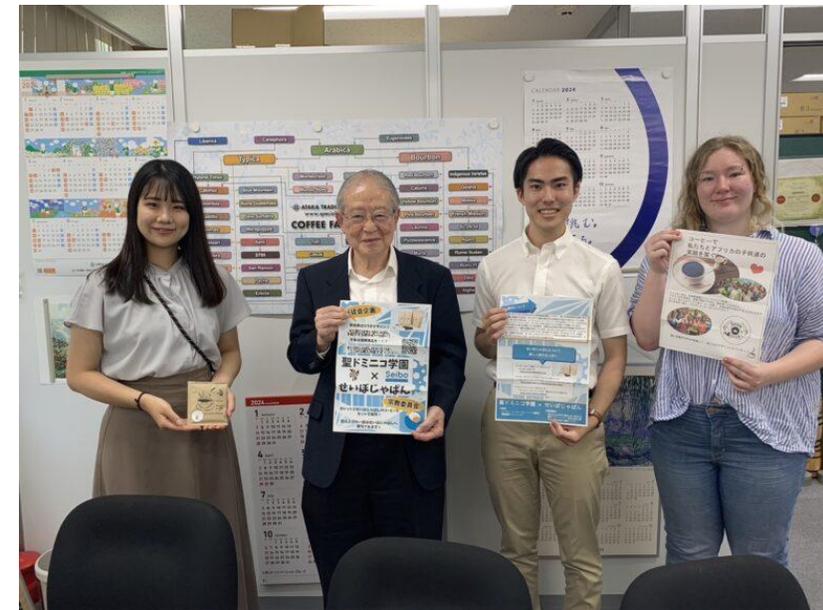
- ・マラウイにおけるリーダーとは
- ・貧困国でのRole Modelの重要性
- ・職業訓練校での体験

- ・皆がリーダーになれる
- ・日本のリーダーシップ像は？



SDGs & Student's Case Studies

- SDGsの歴史とNPO法人せいぼのゴール
- Goal 1と4: 貧困と教育への取り組み
- コース卒業生やインターンの活動紹介
- 高校生、大学生の活動紹介
- 一緒に活動する方法と質疑応答



Malawian Culture & Livelihoods

- ・マラウイでの実体験と文化紹介
- ・JICAスタッフを始めとした方からの話
- ・具体的なエピソードから課題を考える

- ・質問力を養い、課題を見つける練習
- ・貧困国の貧しさと同時に豊かさを知る



参加要件と実施後に得られるもの

推奨の参加要件

- 英検2級程度のReading/Listening力
- 積極的に英語で発信する姿勢
- 興味を持った分野を調べ、スタッフと一緒に深める時間が取れる。
- 基礎となるオンライン環境

コースで得られるもの

- 海外のビジネスを知る機会
- チャリティ活動を知り深める機会
- 活動と一緒に考え行動するきっかけ
- 英語での発信能力の向上
- コース後の活動のきっかけ
- 英国企業からの修了書
- 参加者、講師との交流
(海外からのインターンも含む)



マラウイとの交流と体験価値

現地の声

マラウイの先生から直接、現在の様子や課題について知ることができます。参加者の質問にも、英語での会話を通して回答を受けることができます。

体験価値を高める

自国から遠い場所にいる人々、普段繋がることのできない国と関わることで、国際社会、その課題などについて身近に感じてもらい、スタッフとともに、一緒にチャリティ活動を考えるきっかけを作ります。



Project体験者、過去の参加者との交流と協働が 体験できる

Collective Impact!!

全国の高校生、大学生との交流を通じて、創造的な Project と人脈を得ることができます。

Seibo アンバサダーマップ



大学入試に活かせる

- ▶ **総合型、学校推薦型選抜等の大学入試に活かせる**
→ **知識やプレゼン力が身につく、主体性が身につく、志望理由書
が深まる**
- ▶ **受講者の興味に合わせたコース**
→ **進路発見に繋がる、興味を追求できる**
- ▶ **マラウイ人から生の声を聞くことができる**
→ **現場の実情を知る貴重な体験**



進路への影響

- ▶英国企業、日本の NPOでのインターン証明が獲得できる
- ▶大学院進学などにも活用ができる
(過去、Sussex大学入学、Temple大学奨学金で利用)
- ▶国際支援の具体的体験の事例を身に着け、
今後の応用に繋げることができる



受講者の実例

平野 健太郎(高校2年生)

今回の学びを経て、普通に生活しては学べないことを様々に学び、より多角的視野を手に入れることが出来ました。

ポーランド、イギリス、マラウイそして日本と、様々な国に住んでいる方々からチャリティー、ソーシャルエンタープライズやリーダーシップなどと、普段あまり学ぶことのできないことを学ぶとても貴重な経験となりました。



受講者の実例

西野 麗華 (大学3年生)

アフリカの方から直接オンラインで授業を受けられる経験は初めてだったので、とても新鮮でした。mobellの皆さんのサポートが手厚いので、安心して授業を受講できました！

また、週1回のコースでしたので、無理なく出席しユニークな体験ができたのは、とても有意義で、受講して良かったと思います。



受講者の実例

茂木 千尋(大学4年生)

マラウイやポーランドのスタッフと国際交流を持って、Social EnterpriseやCharityなどの概念を学びながら、マラウイにおける課題を自分なりの切り口でどのように解決できるかを考えるきっかけになりました。コース修了時のプレゼンテーションに取り組む際は、困難もありましたが、日本のスタッフがマラウイスタッフとミーティングを設定して下さるなど、サポートを頂き乗り切りことができました。コースでの経験が糧となり、イギリスのSussex大学の大学院で学びを深めるという進路決定に繋がりました。

コースの体験は大変貴重ですし、学校での勉強を発展させ社会で生きる道標を見つけるきっかけをつかむことができると思います。英語を使った交流に不安がある方も、勇気を出して是非挑戦してみてください。



受講者の実例

Megan Cupke

My internship at Mobal and Seibo Japan gave me the chance to try things for the first time that, up until then, I had only learnt about in my degree. That kind of practical experience at a real business with a real purpose was so valuable, and helped me land my first full-time job afterwards.

The new perspectives that I gained about charity and being open-minded to different cultures are ones I will remember forever."

- Meagan Kupke (Australian University Student)



受講者の実例

サレジオ学院中学校・高等学校

▶コーヒー販売会

サレジオ学院では、生徒さんたちから質問をいただくという形で自主的な探求型学習を行い、その後、中高生の学生たちの手によって販売会の準備を行いました。生徒さんの発案で実現した『フェアトレード&チャリティ』の紅茶・コーヒーの販売会で、マラウイコーヒーが販売されました。

▶Mobell オンラインコース

今回ワークショップにご参加いただいたサレジオ学院卒業生の生徒様には、2022年の2月にMobellオンライン留学コースにご参加いただきました。



お申込み方法について

【申し込み時期】

- ・ご希望の月の前月20日までのお申し込み
- ・参加開始前に説明会(オンライン)を実施
(ご希望を頂いた後、日時を設定致します)

【ご参加費用のお支払いとご参加準備】

- ・参加費10,000円(税込)のお支払い
(ご希望の一週間前までにお支払いが頂ければと思います)
- ・gmailアドレスのご提供とサポートスタッフとの連帯

オンデマンド版も！（英語版のみの実施）

【特徴】

- ・短期の5回分の授業を視聴
- ・最終週にスタッフとの面談、最終プレゼン内容確定
- ・翌月1週目にプレゼン実施→終了証提供

【ご参加費用のお支払いとご参加準備】

- ・参加費6,000円（税込）のお支払い
（ご希望の一週間前までにお支払いが頂ければと思います）
- ・gmailアドレスのご提供とサポートスタッフとの連帯

お申込み方法について(長期インターンコース)

【申し込み時期】

- ・ご希望の月の前月20日までのお申し込み
- ・参加開始前に説明会(オンライン)を実施
(ご希望を頂いた後、日時を設定致します)

【ご参加費用のお支払いとご参加準備】

- ・参加費**60,000円**(税込)のお支払い
(ご希望の一週間前までにお支払いが頂ければと思います)
- ・gmailアドレスのご提供とサポートスタッフとの連帯

お申し込みから受講開始の流れ

- ①該当の参加者様に申し込み書、規約をお送りします。
- ②申込書を送付頂き、請求書を発行させていただきます。
- ③お支払い完了後、google classroomに招待させていただきます。
- ④開始事前打ち合わせを実施いたします。
- ⑤授業の開始。

※毎月25日までのお申し込みで、
翌月第1週目の月曜日より、開始頂けます。

コース内容詳細のお問合せ

モベル日本人スタッフ

山田 真人(やまだ まこと)

makoto.yamada@moba.com

TEL : 090-3426-0734

<https://www.mobell.com/jp/course>



Youtube Channelにて、
具体的な授業の様子の動画も、
見て頂けます！